発行月：平成 31年 1月　家族新聞　第576号

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 髙橋賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
（渋川福祉センター内）
TEL 0561-51-2878

20世紀に発明された技術のうち最も重要なものは何だろう。コンピューターや飛行機でいや、そうではない。空気中から窒素を取り出すための工業技術である。窒素は植物の成長を促すが、かつての農業では天然の窒素、すなわち鳥のふんなどに頼っていた。空気中の窒素を使って作られた化学肥料が農業を劇的に変えた。1900年に16億だった世界人口が何倍にも増えたことに大きく貢献したしかし悲しいのは開発者の一人がその才能を化学兵器にも向けたことだ。第一次大戦でドイツ軍が使った毒ガスである。

人類史上、私たちは最も平和な時代に暮らしている――米国の認知科学者スティーブン・ピンカー氏が著書で述べている。かつての狩猟採集社会や部族社会では、戦争と略奪は日常だった。

◀園・全員。藤池保育

人類は一歩一歩、暴力を減らしてきたのだと、止めてはいけない流れである。

多くの国が20世紀から引き継ぎ負ってきたことがある。何国にものが言えること。誰もが教育を受けられること。国と国の垣根を低くしていくこと……これからも世界が前へ進むための礎であろう。

"脱使い捨てプラ"

「いらない」が特効薬

「脱炭素」「脱使い捨て」は今や二人潮流だ。

子供達が健康でいられる為には代替素材への誘導も積極的に進めるべきだ。

スターバックスのような国際フーズ▶「遊びリンピック」リレー競争

メーカーが「脱プラ」を宣言し新素材への転換を進めており微生物の力で分解される生分解性プラスチックも再び脚光を浴びている。土に還る素材が増えれば海へ流れる「ごみ」は減る。レジで「いらない」と言えるよう私たち消費者も心掛けることではないか。

◀藤池保育園「ボンロケット」

「遊びリンピック」藤池保育園